



令和7年度第1回予備自衛官1日間招集訓練

埼玉地本（本部長・竹内1等空佐）はこのほど、浦和地方合同庁舎会議室において、「令和7年度第1回予備自衛官1日間招集訓練」を実施した。

訓練は、自衛官退職後1年未満で採用された予備自衛官が対象で、座学を中心に構成されている。訓練出頭申告に続いて、予備自制度、来年度からの出頭要領の説明を実施するとともに、昨年末に行われた「自衛官の処遇・勤務環境改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議」による予備自衛官の処遇改善の検討状況を紹介し、勤務意欲の向上を図った。

そのほか、応召確認システム（安否等確認システム）についても説明を行い、同意を得たうえで登録を実施し、システムの実効性向上を図った。

参加した予備自衛官の多くは、自衛官退職後に新たな職場に再就職をしたばかりで、今後の訓練出頭に対して、職場との日程調整などに不安を感じている様子の人もいたが、訓練での説明を受けて不安が解消され来年度からの5日間招集訓練への参加を楽しみにしている様子だった。埼玉地本は「招集訓練部隊と連携し、今後予定されている5日間招集訓練についても同様に、予備自衛官室を中心に予備自衛官招集訓練支援を実施していく」としている。

